

☆
安全性問題

① 安全審査専門部会の小委員会のメンバーが、みんな原電の関係者である。

② 福田節雄委員長（東大教授）は原電技術顧問であった。
小委員長になってからやめた。

③ 那須信治（東大地震研究所長）は原電耐震委員で原電資金持主の訪英調査団に加わった。

④ 竹山謙三郎（建築研究所長）も原電耐震委員で委託研究を受け（約八千万円）、震動台（世界一）を作ってもらった。

⑤ 小平吉男（気象研究所長）は原電の気象調査会の委員。

⑥ 安全審査専門部会に正式申請書が提出され、部会員に見せられたのは十月二十七日で、小委員会の報告案はできていた。しかもその資料は取り上げられて、こんなことで審査などできるか。

⑦ 基準部会と審査部会とメンバーが重なり緊急線量などは青木敏男（原研保健物理部長）が都合の良い線量を決めている。

⑧ 七月九日に福田小委員長の責任で中間報告というものを出した

○ 12 時分 21 日 工務局 政 府 院 在 域

VFR.) 12 時分 21 日
VZR.

⑤

④

七月九日に福田小委員長の責任で中間報告というものを出したが、これは山岸首相訪英のオミヤケでやったのだと本人が記者会見で言っている。

審査部会の報告に合わせて、申請書の方も何度も何度も書き直させている。むしろ原子力局規制課員などが書き、

直しもやっているのだ。